



ふくしま子ども・ 女性医療支援センター

福島的女性が安心して子どもを産み、育み、健康な一生を過ごせることをめざして



安心して子どもを産み、 育てられる福島県へ



ふくしま子ども・
女性医療支援センター
センター長
高橋 俊文

福島県は、慢性的な医師不足や医師の偏在を解消するために、福島県立医科大学内に福島県地域医療支援センターを設置し、県内への医師定着を促進する事業を展開してまいりました。

特に周産期医療に関わる、産婦人科、小児科医師が不足していましたが、2011年の東日本大震災をきっかけに状況はさらに悪化しました。このような状況を打破するため、県の委託を受け、2016年4月、福島県立医科大学に「ふくしま子ども・女性医療支援センター」が開設されました。初代センター長には水沼英樹先生が着任し、2020年11月からは高橋が2代目のセンター長を拝命しております。

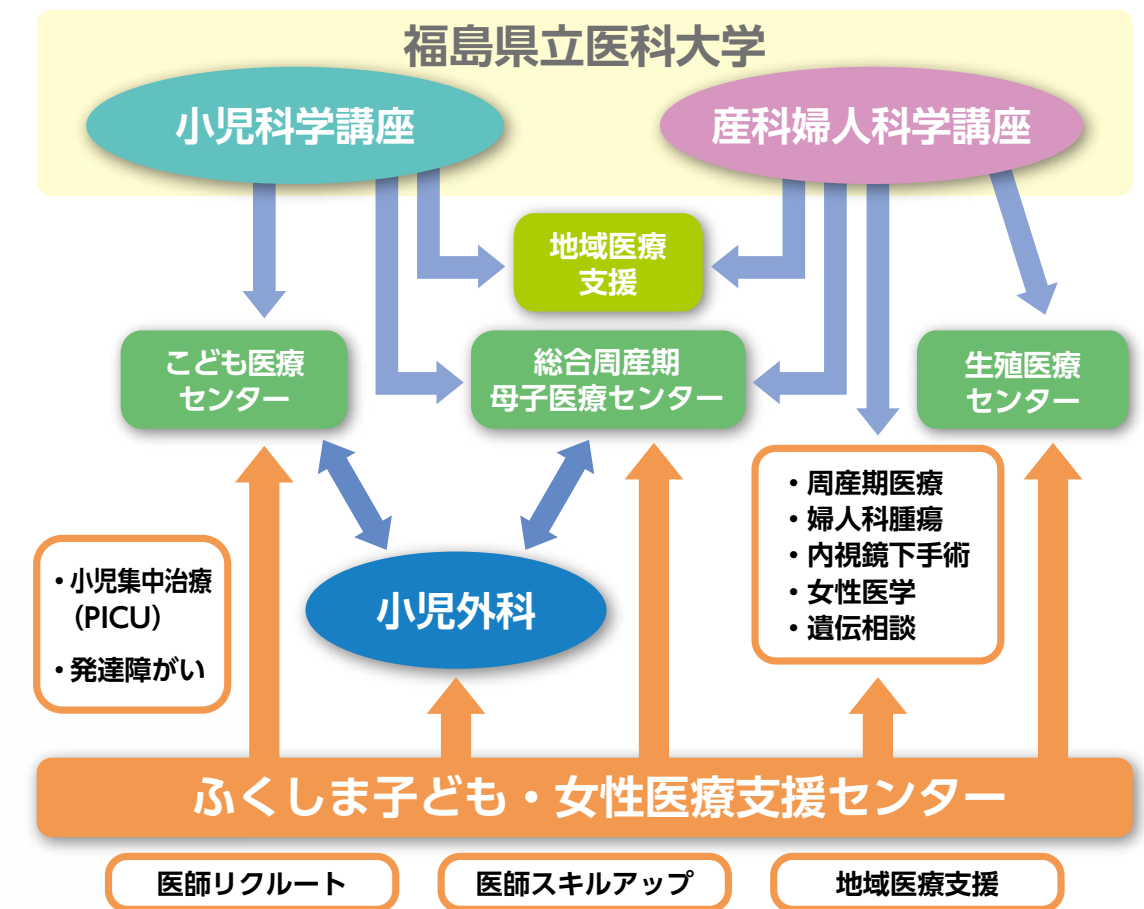
ふくしま子ども・女性医療支援センターは、「福島県に住む女性が安心して子どもを産み、育み、そして健康な一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的に設立された、全国的にも例をみない only one の施設です。

小児科医、産婦人科医のエキスパートが県内医療機関の小児科・産婦人科の医療支援を行うとともに、妊娠の前段階から妊娠、出産、子どもの成長、女性の生涯にわたる健康を一貫して支え、子どもと女性の医療に携わる医師の養成を支援していきます。

センターが取り組んでいる主な事業

医師リクルート	全国から小児科、小児外科、産婦人科のエキスパートをリクルートします 県内の小児科、小児外科、産婦人科専門医コースへのリクルートを支援します 全国の産婦人科専攻医の福島県内基幹病院での連携研修を支援します
医師スキルアップ支援 (人材育成)	県内の若手産婦人科医師の臨床指導・研究指導を行います 県内の研修医向けに小児科・産婦人科関連の出前講座を行います 県内の産婦人科医師のためにスキルアップ研修会・講演会を開催します
地域医療支援	県内の拠点病院等への医師派遣を行います 県内の拠点病院等の子ども・女性医療の診療支援を行います 発達障がい児の診断・治療に関する診療を支援します
卒前教育と学内医療支援	県立医大の学生教育をサポートします 学内の小児科、小児外科、産婦人科の診療支援を行います 学内の小児集中治療室（PICU）の診療支援を行います
その他	県外学生を対象にした福島県内の周産期医療ガイダンス 県立医大の学生を対象にしたハンズオントレーニング 助産師外来の設立と運営に関する支援

福島県の小児科・産婦人科医療と センターの関わり



藤森 敬也 教授
産科婦人科学講座



郷 勇人 教授
小児科学講座



田中 秀明 教授
小児外科

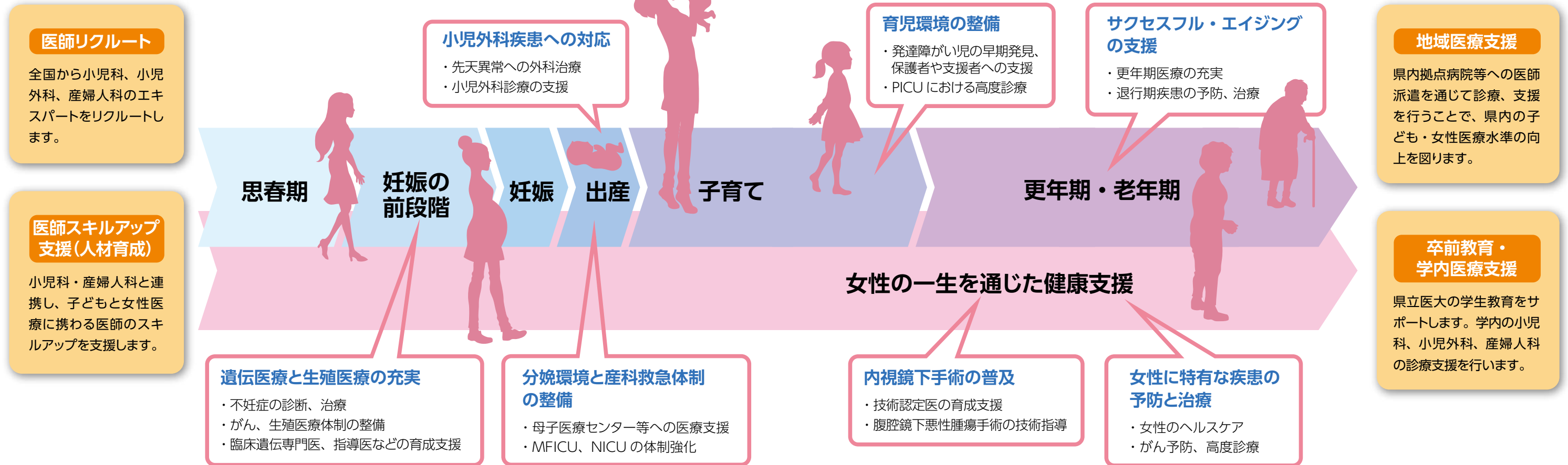
従来、福島県の小児科医療、産婦人科医療は、福島県立医科大学小児科学講座、産科婦人科学講座が中心となって推進されてきました。それぞれの講座は、附属病院の中央診療部門である“こども医療センター”、“総合周産期母子医療センター”、“生殖医療センター”に人材を派遣し、また、県内の主要病院に教室員の派遣を行い福島県の小児科医療、産婦人科医療を守りその向上に貢献してきました。

ふくしま子ども・女性医療支援センターはこれらの講座と密接な連携を図り、小児科部門では小児集中治療室（PICU）の充実化や小児発達障がい児の診療と早期発見支援システムの構築を行っています。令和2年度からは小児外科医も加わり、周産期外科疾患の診療にも支援の範囲を広げています。

一方、産婦人科部門では周産期医療、生殖医療、婦人科腫瘍、内視鏡下手術、女性医学、遺伝相談などの分野での医療支援に加え、学生教育や専門医の論文指導の支援を行っています。

福島県に住む女性が健康な一生を過ごすための医療支援をしながら、安心して子どもを産み、育てる環境をつくります

小児科医・産婦人科医の招へいと定着とともに、小児科、小児外科、産婦人科が連携し、女性の一生を通じた診療体系を構築します。



昭和大学産婦人科より専攻医連携研修の受け入れをサポートしています。

地域の中核病院に求められる責任

辛 俊幸
専攻医 2 年目



昭和大学病院所属専攻医の辛俊幸と申します。

現在、白河厚生総合病院にて勤務しています。私は小学生まで栃木県の佐野や那須で生活していたこともあり、白河への配属を希望し2023年10月から勤務しています。

知り合いのいない土地での生活に、初めは不安を感じていました。しかし、街の雰囲気や人の温かさなどは幼少期に過ごしていた地域と似ています。非常に過ごしやすい環境の中で、指導してくださる上級医の先生や親切で気さくなスタッフの方々に助けられながら、日々診療に携わっています。

当院は、福島県南地域の産婦人科医療全般を担っており、周産期医学・生殖内分泌学・婦人科腫瘍学・女性医学全てをまんべんなく学ぶことができます。特に婦人科外来では、自分で術前管理から術後のフォローアップまでを一貫して担当します。月経困難症などの患者さんを外来フォローしながら、その方のライフ

スタイルや価値観に合わせた加療の過程で、段々と生活しやすくなる様子を見るとやり甲斐を感じます。このような関東の総合病院や大学病院では携われなかった経験をしながら、充実した研修生活を送っています。日々、各々いろいろな悩みを抱えた方々が受診され、地域の中核病院として女性の一生を支えていることをその都度実感し、大きな役割を担っているのだと強く感じています。

白河市は新幹線の停車駅があり交通の便もよいので、東北のみならず関東地方へのアクセスも便利な住みやすい街です。福島県の中では雪が少なく、春は桜、秋は紅葉が綺麗で、四季折々の景色を楽しめます。白河での研修に興味のある方は、ぜひ一度見学にいらしてください。



2023年10月より
白河厚生総合病院で研修

主体的な診療で力が付いていきます

永元 慶佑
専攻医 1 年目



昭和大学医学部産婦人科学講座、2023年度入局の永元慶佑です。専攻医の地域医療研修として、2023年10月より会津若松市の竹田総合病院に勤務しております。専攻医1年目での異動で、赴任時には不安もありましたが、先生方のご指導のもと、多くの診療に携わることができています。

竹田総合病院に来る前は外来診療を行う場面がほとんどなく、初めて妊婦健診、婦人科外来を受け持つことになりました。入院の方とはまた違った様子で、戸惑ったり迷ったりすることもあります。上級医の先生方にご指導いただきながら診療を進められることに、大きなやりがいを感じています。初診から担当し、手術のICや執刀、術後のフォローアップまで、専攻医であっても担当させていただける範囲が広く、まだまだ未熟ではありますが力が付いていくを実感しています。入院患者の方も、主治医として受け持つのは初めてで、たくさんご相談し、日々悩みながらも主

体的に診療でき、充実した生活を送っております。

また、地域の周産期センターとして、ハイリスク妊娠の管理もあります。自院でできること、できないことを考慮し、必要時は母体搬送を行う必要がありますが、患者さんが遠くに住んでいる、搬送に時間がかかるなど、地域ならではの難しさも感じています。

会津は雪深く、冬場の生活は大変な側面もありますが、歴史のある街並み、おいしいもの、豊かな自然など、ここでしか体験できないことがたくさんあります。福島県、会津若松での研修に興味がある方、ぜひご見学にいらしてください。



2023年10月より
竹田総合病院で研修

センタースーパーバイザーおよび教員



吉村 泰典
福島県立医科大学副学長
ふくしま子ども・女性医療支援センタースーパーバイザー（非常勤）

■専門分野 生殖医学、周産期医学、生命倫理
■研究テーマ・成果 生殖生理学、再生医学、生殖内分泌、発生生物学
■主な学会活動
2007年 日本産科婦人科学会理事長（2011年まで）
2010年 日本生殖医学会理事長（2014年まで）
2011年 日本産科婦人科内視鏡学会理事長（2015年まで）
その他数多くの学会理事歴任
■主な社会活動
2013年 一般社団法人吉村やすのり生命（いのち）の環境研究所代表理事
2013年 内閣官房参与（少子化対策・子育て支援担当）（2020年まで）



高橋 俊文
センター長（教授）
産婦人科

■専門分野 生殖医療、生殖内分泌学、婦人科内視鏡下手術
■研究テーマ・成果 不妊症の診断・治療
卵子の老化に関する研究
女性医療の均てん化に関する研究
小児・AYA世代がんサバイバーのヘルスケア
■主な学会活動
日本卵子学会理事、日本生殖医学会代議員、
日本生殖内分泌学会理事



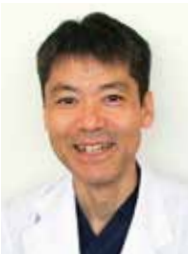
横山 浩之
副センター長（教授）
小児科

■専門分野 小児神経学
■研究テーマ・成果 子どもの行動異常（発達障害、精神障害）とそれに関わる教育・保健・福祉との連携
■主な社会活動
2023年 伊達市市政アドバイザー



西郡 秀和
教授
産婦人科

■専門分野 周産期医学、遺伝カウンセリング
■研究テーマ・成果 周産期環境と子どもの神経発達に関する研究、周産期メンタルヘルスに関する研究



神保 正利
特任教授
産婦人科

■専門分野 周産期医学
■研究テーマ・成果 県外の大学産婦人科との連携システムの構築、災害時における産科医療の教育システムの開発



小川 真里子
特任教授
産婦人科

■専門分野 女性ヘルスケア
■研究テーマ・成果 女性心身症全般(PMS/PMDD)、更年期障害、閉経後脂質異常症



清水 直樹 小児科
特任教授（非常勤）

■専門分野 小児科学、救急医学、集中治療医学、蘇生科学
■現勤務先 聖マリアンナ医科大学小児科学



新津 健裕 小児科
特任准教授（非常勤）

■専門分野 集中治療医学、小児科学、Critical Care Outreach
■現勤務先 埼玉県立小児医療センター集中治療科



齊藤 修 小児科
特任准教授（非常勤）

■専門分野 集中治療医学、麻酔科学、小児科学
■現勤務先 東京都立小児総合医療センター集中治療科



荻原 重俊 小児科
特任助教（非常勤）

■専門分野 集中治療医学、麻酔科学、小児科学
■現勤務先 手稲溪仁会病院小児科/小児集中治療科



金森 豊 小児外科
特任教授（非常勤）

■専門分野 小児外科学、消化管免疫学
■研究テーマ 小児外科、消化管免疫



南 洋輔 小児外科
特任助教（非常勤）

■専門分野 小児外科一般
■研究テーマ・成果 再生医療、新生児外科学
■現勤務先 太田西ノ内病院小児外科



福島 明宗 産婦人科
特任教授（非常勤）

■専門分野 臨床遺伝学、周産期医学
■現勤務先 北上済生会病院



福井 淳史 産婦人科
特任教授（非常勤）

■専門分野 生殖医学・生殖免疫学・生殖外科・内視鏡手術
■現勤務先 兵庫医科大学産科婦人科



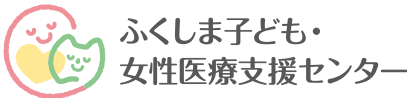
磯部 真倫 産婦人科
特任教授（非常勤）

■専門分野 婦人科腹腔鏡下手術、婦人科腫瘍、医学教育
■現勤務先 岐阜大学生殖発育医学講座産科婦人科学分野



黒田 優佳子 産婦人科
特任教授（非常勤）

■専門分野 不妊症学（特に臨床精子学、生殖生理学）
■現勤務先 黒田インターナショナルメディカルリプロダクション



鈴木 大輔 産婦人科
特任講師（非常勤）

■専門分野 周産期救急、婦人科内視鏡下手術
■現勤務先 太田西ノ内病院産婦人科

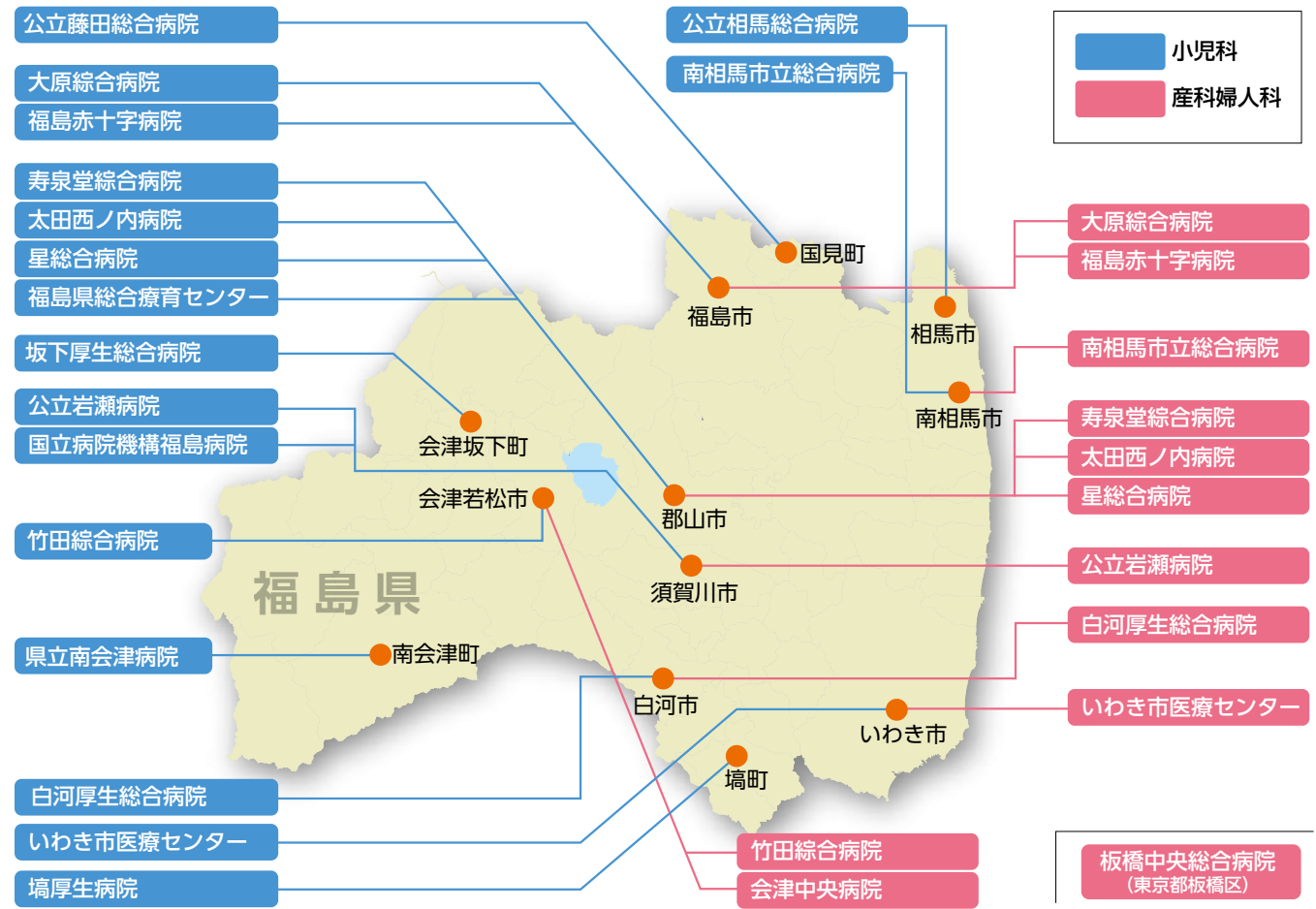
福島県の産婦人科・小児科医療の向上を一緒に目指しませんか



ふくしま子ども・女性医療支援センターでは、
福島県の子どもと女性の医療に貢献できる、
産婦人科医、小児科医、小児外科医を求めています。

猪苗代湖と磐梯山 [猪苗代町]

専門医研修協力病院





福島の見どころ・うまいもの

広い県土を有する福島には、豊かな自然が育んだ数々の名所やうまいものがたくさんあります。



磐梯吾妻スカイライン

高湯温泉と土湯峠を結ぶ29kmの山肌を縫うように走る観光道路。季節ごとに変化に富んだ風景を見せてくれます。



諸橋近代美術館

サルバドール・ダリを中心に、19～20世紀の巨匠の作品を収蔵。四季ごとに美しい庭園を望むこともできます。



果物

福島は全国有数の果物の産地。サクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴなど四季を通して様々な果物を楽しめます。



日本酒

全国新酒鑑評会で、9回連続金賞受賞蔵数日本一を誇る酒どころ・福島。美酒・銘酒が楽しめます。



円盤餃子

フライパンの形に合わせて餃子を丸く並べて焼くことから、「円盤餃子」と呼ばれています。小ぶりで食べやすいのが特徴です。



アクアマリンふくしま

東北最大級の楽しく学べる体験型水族館です。潮目の海をテーマに800種類を超える生物を展示しています。



Jヴィレッジ

提供：株式会社Jヴィレッジ

サッカーのナショナルトレーニングセンターです。スタジアムのほか、ホテルやフィットネスジムも完備しています。



ラーメン

今や全国区となった喜多方をはじめ、白河、西会津味噌、裏磐梯山塩、郡山ブラックなど、個性豊かなラーメンが揃います。



温泉

飯坂、高湯、磐梯熱海、甲子、東山、中ノ沢、いわき湯本など県全域で様々な種類の温泉が楽しめます。



車 東北自動車道 福島西 I.C.より約13分、
福島松川スマート I.C.より約8分

バス JR福島駅東口バス乗り場(5番または6番ポール)より乗車、
バス 「医大病院」または「医科大学前」下車(約36分)



公立大学法人 福島県立医科大学
ふくしま子ども・女性医療支援センター

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 TEL 024-547-1385 FAX 024-547-1386
<https://www.fmu.ac.jp/home/fmccw/> E-mail fmccw@fmu.ac.jp

